

## 武庫川女子大学薬学部

### 【1】教育目標

本学部が目指す人材は、本学の立学の精神、教育目標、教育推進宣言に則り、幅広い教養と人間性豊かな専門知識を基盤として、医療と薬並びに健康に関わる多様な分野で、薬剤師業務、新薬の創製・開発、医薬品の管理・情報提供、衛生薬学そして薬事行政などの諸活動を通して、薬学に課せられた社会的使命を遂行し得る有為な女性を養成します。

### 薬学科と健康生命薬科学科の教育目標

- ・ **薬学科**：薬剤師として、高度な臨床能力と実践能力を有し、医療人としての使命感を持ち、病院・薬局などの医療機関をはじめ、薬の専門家としてあらゆる場面で活躍できる有為な女性を養成します。
- ・ **健康生命薬科学科**：健康科学、生命科学を重視した薬科学教育によって、研究機関、産業界、環境・衛生行政など、薬に関連した多彩な分野で社会に貢献できる人材を養成します。

### 【2】アドミッション・ポリシー（入学者受け入れに関する方針）

本学部の立学の精神、教育目標に応える次のような人の入学を希望します。

- 1) 自主的・積極的に勉学する態度や習慣、考える力を身につけ、生涯にわたり勉学を続ける意欲のある人
- 2) 人を思いやり、人のために尽くす精神を有し、常に自己を磨くことに努力を惜しまない人
- 3) 自然科学への強い関心と探求する心を持ち、科学的事実に基づいて自ら行動しようとすることに努力する人
- 4) 薬剤師業務、新薬の創製・開発、医薬品の管理・情報提供、衛生薬学そして薬事行政などの職業に魅力を感じ、これらの職業を通して社会のために貢献しようとする情熱のある人
- 5) 入学までに学ぶべき事項を幅広く修得し、入学後の学習に必要な基礎科学力と英語力を身につけるための努力を惜しまない人

### 薬学科と健康生命薬科学科のアドミッション・ポリシー

・薬学科：

- 1) 幅広い教養と基礎学力を有し、将来薬剤師資格者として、医療や健康・福祉その他の分野で社会貢献したいという強い意欲のある人
- 2) 医療や健康・福祉等に携わる者としての使命感と倫理観を持とうと努力する人
- 3) 科学的な思考力と問題提起・解決能力を身につける事の重要性を理解しようとする人
- 4) 医療人としての思いやりと協調性、コミュニケーション能力を育て、薬の専門家として医療の発展に貢献しようとする人
- 5) 自ら学ぼうとする強い意欲を持とうとする人

・健康生命薬科学科：

- 1) 自然科学に興味を持ち、健康や生命を深く学び探求したいという強い意欲のある人
- 2) 研究に関わる者としての使命感を持ち、研究者の倫理観を理解しようとする人
- 3) 科学的な思考力、問題解決能力や真実に基づく考察の重要性を理解しようとする人
- 4) 薬学研究に取組み、研究成果を通して、人類の健康と疾病予防・福祉に貢献したいという強い意志のある人、
- 5) 中学・高等学校の理科教員として後継者育成活動に寄与したいという強い意志のある人
- 6) 自ら学ぼうとする強い意欲を持とうとする人

**【3】カリキュラム・ポリシー（教育課程編成に関する方針）**

本学部の教育目標を実現し、薬に関する幅広く高度な専門知識と優れた臨床能力を兼ね備えた薬剤師、高度な薬学的専門知識と科学的思考力を身につけ、薬学分野で広く研究・技術開発等に貢献できる多様な研究者・技術者人材を育成する。そのため、全ての学生に薬学・薬科学の知識を総合的に理解させるとともに、年次的に専門性を高め、卒業後のキャリアに直結した「学習成果基盤型教育（outcome-based education）」のカリキュラムとしている。

## 薬学科と健康生命薬科学科のカリキュラム・ポリシー

- ・ **薬学科**：薬剤師として高度な専門知識と臨床能力を身につけ、医療をはじめとする多様な分野で社会貢献できる有為な人材を養成するために、共通教育科目、外国語科目、基礎教育科目に続いて、薬剤師教育カリキュラムのガイドラインである改訂「薬学教育モデル・コアカリキュラム」（平成25年12月、文部科学省薬学系人材養成のあり方に関する検討会）に準拠した科目と本学独自の科目を適切に配置したカリキュラムにより、上記検討会で制定された「薬剤師として求められる基本的な資質」の修得を目標に、次のように実施します。
  - 1) 1～2年次は、共通教育、基礎的科学と外国語、および、薬剤師に必須なコミュニケーションを学び、薬剤師への志向と学習意欲の向上を図ります。
  - 2) 2～3年次は、薬学を理解し、薬剤師に必要な基本的な科学知識・技能を養います。
  - 3) 3～5年次は、医療の高度化に対応するために、薬剤師に必要な医薬品の有効性・安全性、病態治療、健康・環境について学びます。
  - 4) 4～6年次は、4年次の事前学習、5年次の病院実習、薬局実習をふくめ臨床科目を学び、薬剤師として医療に貢献できる知識・技能・態度を学びます。
  - 5) 5～6年次は、卒業研究により、倫理性、問題発見・解決能力、論理的な思考力を養います。
  - 6) 全学年を通して、薬剤師に関わる社会の仕組みや法規制を学び、地域における保健・医療・福祉、個人情報への取扱い、地域連携などを学びます。
  
- ・ **健康生命薬科学科**：高度な薬学的知識と科学的思考力を身につけ、共通教育科目、外国語科目、基礎教育科目に続いて、健康科学と生命科学、薬科学の専門的な知識、技能を習得するために、卒業後の多様な職種への進路を見据えた多様な履修モデルコースに基づく科目編成を、次のように実施します。
  - 1) 1～2年次は、教養教育科目、基礎的科学力と語学力、および、薬科学の基礎を学び、卒業後の進路への志向と学習意欲の向上を図ります。
  - 2) 2～3年次は、薬科学について高度な専門的知識を修得し、研究テーマを選択するための基盤を学びます。
  - 3) 3～4年次は、多様な履修モデルコースに準拠した専門科目を学習する

ことにより、自己の専門性を高め、その応用力を学びます。

4) 3～4年次は、授業科目に加えて、研究室での研究を通して、選択した専門分野の研究者・技術者に求められる技能を学習し、研究における展開力を学びます。

#### **【4】ディプロマ・ポリシー（卒業認定、学位授与に関する方針）**

武庫川女子大学の立学の精神を実践し、薬学部の教育理念およびカリキュラム・ポリシーに基づいて設定された授業科目を学習し、薬と健康に関わる多様な職種の専門家に必要とされる知識・技能・態度を身につけ、薬学科にあつては6年以上在籍し、卒業に必要な単位数（192単位以上）を修得した者、健康生命薬科学科にあつては4年以上在籍し、卒業に必要な単位数（124単位以上）を修得した者に対して、それぞれ卒業を認定し、「学士（薬学）」と「学士（薬科学）」の学位を授与します。

#### **薬学科と健康生命薬科学科のディプロマ・ポリシー**

・**薬学科**：6年以上在学し、共通教育科目30単位以上、基礎教育科目および専門教育科目の中から162単位以上を含む合計192単位以上を修得した者で、幅広い教養と「薬剤師として求められる基本的な資質」を習得し、薬を通して社会に貢献できる能力を有したと認めた者に対し、教授会の議を経て、学長が卒業を認定します。卒業を認定された者には、学士（薬学）の学位を授与します。

##### **1) 知識・理解**

- ① 医療人としての使命感と倫理観を有する
- ② 豊かな教養と医薬品および臨床に関する専門的知識を有する
- ③ コンプライアンス（法令遵守）の必要性を理解する

##### **2) 技能・表現**

- ① 薬剤師として、医薬品の供給、調剤、服薬指導、処方設計、安全性・有効性、リスク管理およびチーム医療への参画に必要な薬学的能力を有する
- ② 薬剤師業務および関連業務に必要なプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を有する
- ③ 薬物療法および地域の医療・健康・疾病予防・福祉等の実践等に必要とされる基礎的科学技術を有する

### 3) 思考・判断/態度・志向性

- ① 進歩する医療や科学について、自ら学び、考え、問題点を発見し、解決する能力を有する
- ② 薬剤師として、患者・生活者医療と医薬品を巡る社会的動向を把握し、生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲と態度を有する
- ③ 次世代を担う薬剤師人材を育成する意欲と態度を有する

・**健康生命薬科学科**：4年以上在学し、共通教育科目の中から20単位以上、基礎教育科目及び専門教育科目の中から104単位以上を含め、合計124単位以上を修得した者で、薬と健康と生命を科学的に考える知識、技能、態度を身につけ、薬と健康を通して社会に貢献できる能力を有したと認められた者に対し、教授会の議を経て、学長が卒業を認定します。卒業を認定された者には、学士（薬科学）の学位を授与します。

#### 1) 知識・理解

- ① 研究者・技術者としての使命感と倫理観を有する
- ② 豊かな教養と医薬品の製造・開発、健康・疾病予防・福祉などに関する深い専門的知識を有する
- ③ コンプライアンス（法令遵守）の必要性を理解する

#### 2) 技能・表現

- ① 研究者として、実験計画の立案、機器や試薬の使用・管理、データ収集・管理と解析、調査など、研究活動に必要な能力を有する
- ② 様々な発表会や学会などにおいて、研究成果の発表に必要なプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を有する
- ③ 医薬品合成、成分分析、薬理活性評価、薬物治療などへの応用において必要な基礎的技術を有する

### 3) 思考・判断/態度・志向性

- ① 進歩する医療や科学について、自ら学び、考え、問題点を発見し、解決する能力を有する
- ② 疾病、環境、医療や医薬品に関する社会的動向を把握し、生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲と態度を有する
- ③ 次世代を担う研究者・技術者人材を育成する意欲と態度を有する